

(案)

2020 (R2) シカ年度 エゾシカ捕獲事業計画 (隣接地域)

第3期知床半島エゾシカ管理計画の管理目標：エゾシカの採食圧を軽減することにより、生物多様性を保全するとともに、地域住民とエゾシカの軋轢緩和を図る。

1) 経緯と方針

<経緯>

- ・北海道森林管理局では、2010 (H22) 年度から春苺古丹地区で捕獲事業を開始。2013 (H25) 年度から遺産地域に隣接する宇登呂地区での捕獲事業を開始。2014 (H26) 年度から遠音別地区、真鯉地区において捕獲事業を開始。
- ・わなによる捕獲は、囲いわな、箱わなに加え、2018 (H30) 年度からくくりわなによる捕獲を実施。
- ・囲いわなでの捕獲数が年々減少しており、理由としては警戒心の増加、局所的な生息数の減少が原因として考えられる
- ・地形条件等により囲いわな設置が難しい箇所においては、銃を用いた捕獲をH26年度から実施。なお、捕獲可能な場所が限られることもあり、捕獲頭数は年々減少している。

<方針>

- ・希少猛禽類が高密度に生息していることから、捕獲方法はわなによる捕獲を主体とする。
- ・銃猟禁止区域であるウトロ東からオシンコシンにかけて、及び春苺古丹については、2019 (R1) 年度で捕獲効率の高かったくくりわなによる捕獲を主体とする。
- ・囲いわなについては捕獲頭数が減少しているため、春苺古丹1以外の休止を検討する。
- ・箱わなは金山川・春苺古丹で実施を検討する。
- ・銃を用いた捕獲は捕獲頭数の減少のため、今年度については実施しない予定。
- ・捕獲目標頭数は前年度及び前々年度実績を勘案して作成。

2) 捕獲事業内容案

<全体>目標 95 頭

- ・既存囲いわな (12 月中旬～2 月下旬)
- ・既存箱わな (12 月中旬～2 月下旬)
- ・くくりわな (1 月上旬～2 月下旬)

2-1) 宇登呂地区 捕獲目標頭数：30 頭

- ・くくりわな (ウトロ東、弁財崎)

2-2) 遠音別地区 捕獲目標頭数：30 頭

- ・くくりわな (オシンコシン 2 囲いわな周辺)

2-3) 真鯉地区 捕獲目標頭数：5 頭

- ・くくりわな (金山川周辺)
- ・既存箱わな 7 基 (金山川周辺)

2-4) 春苧古丹地区 捕獲目標頭数：30 頭

- ・既存囲いわな 1 箇所 (春苧古丹 1 囲いわな)
- ・既存箱わな 3 基 (春苧古丹 2 箱わな)
- ・くくりわな (春苧古丹川周辺)

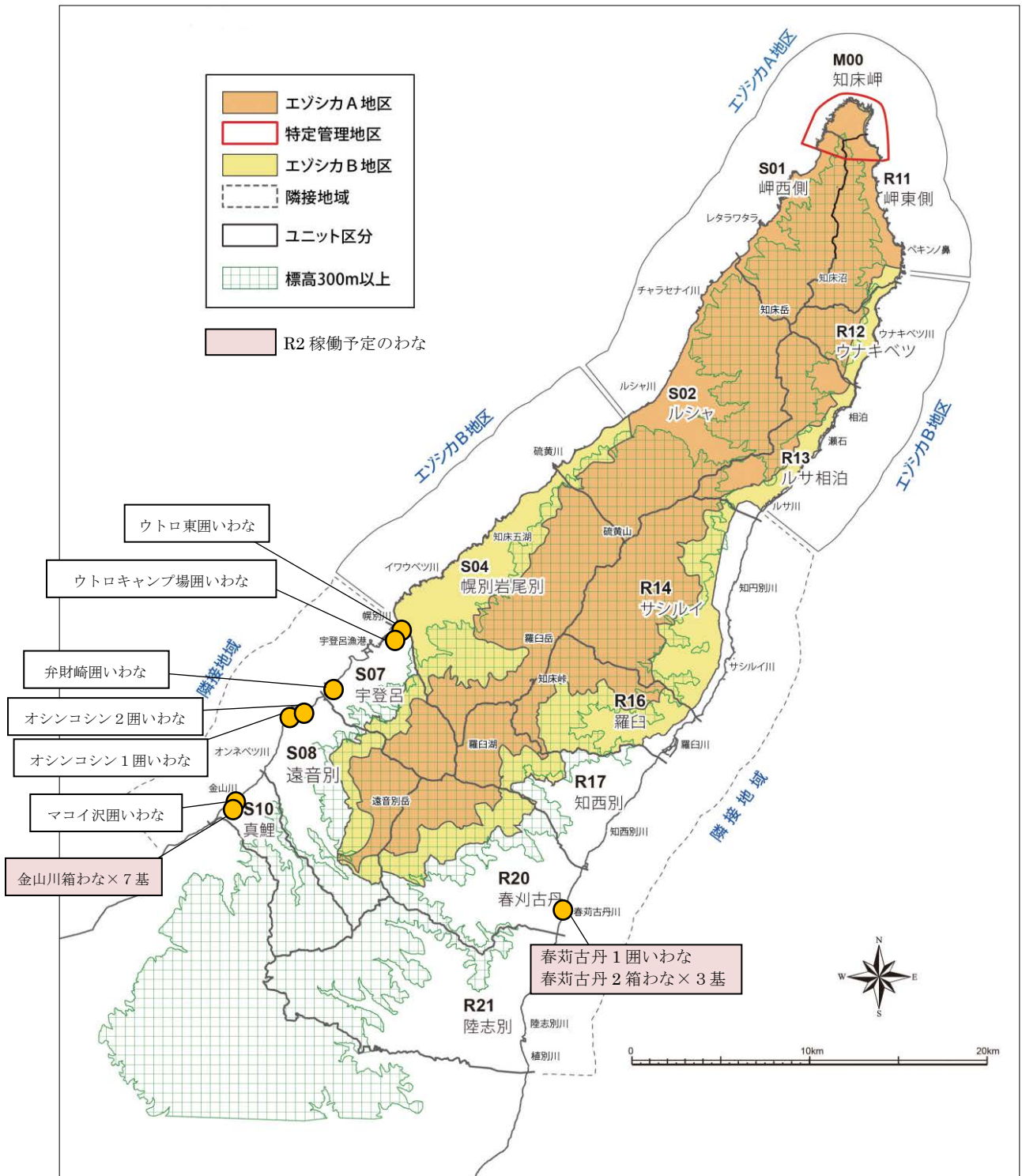


図 8-2-1. 既設わな及び R2 年度稼働予定のわな位置図